道路の2Aの回り込み部が隣地で入隅になっている道路境界のグループ化の方法

| 本例では、①道路が入り隅になっている事、北側の境界線がほぼ直線上にある為、 | ②北側の道路境界は全て同一区間で一体で計算可能な為、「shift」キーを押しな | |
|---------------------------------------|---|--|
| 同時計算を行う。道路反対側の形状は直線状にある為、同一区画の設定を行う。ま | がら下図の様に選択した状態で「外壁後退同一設定」の「設定」ボタンをクリ | |
| ず天空率敷地でマウスアイコン右となりの「他の入力データの変換」アイコンをク | ックし、続けて「同一区間の設定」の「設定」ボタンをクリックする。一体で | |
| リックし敷地形状を天空率敷地に変換する。 | 行う場合、この設定を行うと外壁後退距離は同一設定された最短の距離を選択 | |
| | します。 | |



③天空率算定領域に移動し「自動発生方式詳細」ボタンをクリックし「天空率設定ファイル」を開き「大阪方式」を選択する。 これを初期値に設定する場合は「設定」「初期値設定」「算定線」で行う。

| 大阪: 例題*(新規プラン) - TP-SKY コッ(ル(F) 編集(F) 表示(A) 図注(D) 入力設定(P) ⁽¹⁾ | | _ B × |
|---|------------------------|--|
| | 5000mm - 風い 天空率算定領域 | |
| ア空車首定領域入力 ? × 算定領域 ボイント座標(m) 領域番号 31 用途番号 1 地盤面番号 1 基準高さ(m) 0.000 数地境界番号 8 「同時計1算グルーブ」 自動発生方式詳細 全境界発生 道路 通路 隣地 北側 道路 ● 自動発生 ● 自動発生 ● 日勤発生 ● 日勤発 ● 日勤発 ● 日勤 ● 日勤 | | 発生及び計算時設定 「 常に敷地または天空平用敷地に垂直な方向で 計算する マ 天空率算定線に垂直な方向で算定領域を切断 当該境界からの高さ制限範囲を入り隅範囲まて 前面道路範囲を幅負の2倍で区切らないように JOBO方式 _ JOBO方式 _ 近路幅が異なる入隅での算定線の扱い |
| 設定 登定 解除 3 び | ファイルの種類①: 大阪方式.ski | |

④全境界発生「道路」をクリックし算定領域および算定線を発生する。円弧処理の為多少時間を要する(数分)*作図された算定線は敷地の幅全体を包落するように作図されます。









⑩「計算」モードの「天空率計算」に移動し画面右側の「天空率表示」「全領域」をチェックし全領域を表示可能状態に設定後「均等発生」「計算開始で計算を行う。 この場合すべてクリアーする。

